

家計が黒字化！「入金専用」「支払専用」の2口座による家計管理



みなさんはいくつ銀行口座を利用していますか。すべての入出金をひとつの口座で管理している人もいれば、いくつも口座があって入金や出金分散されている人もいるかもしれません。しかしその場合、使っているお金がいくらなのかを把握しづらく、つい使いすぎてはしまわないでしょうか。

公認会計士の林總さんは、家計を黒字化させるためには「入金専用口座」と「支払い専用口座」の2口座で管理することがおすすめだとアドバイスします。この方法のメリットは、毎月の予算の上限額が明確に把握できるため、使いすぎを防いで貯金を増やしやすいく。その手順は次の通りです。

- ①保険やローン、家賃、光熱費、通信費、月謝といった毎月確実に引き落とされる「固定費」の合計額を算出します。そして月収から固定費を差し引いた金額を把握して、毎月の預金額と家計予算額を決めます。預金額は少額でもいいので、毎月必ず積み立てられる金額を設定します。
- ②給与が支払われたら、給与振込口座とは別に「入金専用口座」を用意し、自分のおこづかい分以外の収入を「入金専用口座」に移します。夫婦の場合は1つの「入金専用口座」に、二人の収入をまとめましょう。
- ③「入金専用口座」から①で決めた預金額を積み立て、残金を「支払い専用口座」に移します。保険やローン、家賃などの毎月引き落とされる固定費はすべて「支払い専用口座」から引き落とされるように整理しましょう。
- ④「支払い専用口座」から①で決めた家計予算額を引き出し、「生活費」「レジャー費」などの費目別に現金を振り分けてそれぞれ別の封筒に入れ、食費や日用品費は「生活費」の封筒からお金を支払うというように費目別に支出を管理します。費目は細かく分けすぎず、5費目以内にまとめると管理が楽です。

「締め日にお金が残った場合は、貯金箱に貯金しましょう。毎月決まった家計予算額でやりくりできるようになるためにも、決して翌月の予算に繰り越さないのがポイントです。貯金箱のお金は旅行などの予算にあてると楽しみが増えます。お金が毎月余る場合は、預金積立額を増やしてみましょう」(林さん)

なお、クレジットカードは翌月や翌々月の予算を先取りするものなので、使用する場合は個人のおこづかい(給与振込口座に残したお金)から引き落とされるように設定し、使用した金額分を④の家計予算から現金で回収すると、当月の家計収支に反映できます。

この方法なら毎月確実に貯金が増え、継続的に黒字化しやすくなります。春からの新生活に向けて、この機会に口座の整理をしてみたいはいかがでしょうか。

監修者 林 總(はやし・あつむ)さん

公認会計士、明治大学会計専門職大学院教授(管理会計)。外資系会計事務所、監査法人を経て開業。国内外の企業に対して、ビジネスコンサルティング、ITを活用した管理会計(主として原価計算)システムの設計導入コンサルティング、講演活動等をおこなっている。『餃子屋と高級フレンチでは、どちらが儲かるか』(ダイヤモンド社)、『ドラッカーと会計の話しよう』(中経出版)、『正しい家計管理』(WAVE出版)ほか著書多数。

<http://www.atsumu.com/>